

プレドネマ注腸 20mg

【この薬は？】

販売名	プレドネマ注腸 20mg Predonema Enema 20mg
一般名	プレドニゾロンリン酸エステルナトリウム Prednisolone Sodium Phosphate
含有量 (1 容器中)	プレドニゾロンリン酸エステルナトリウム 22mg (プレドニゾロンリン酸エステルとして 20mg)
容量	60mL

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、合成副腎皮質ホルモン剤（ステロイド）と呼ばれるグループに属する注腸剤です。
- ・この薬は、大腸に直接作用し、大腸の炎症部分を改善する働きがあり、潰瘍による症状をやわらげます。ただし、病気の原因そのものを治す薬ではありません。
- ・次の病気の人に処方されます。

潰瘍性大腸炎、限局性腸炎

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、発熱、頭痛、食欲不振、脱力感、筋肉痛、関節痛、ショックなどの症状があらわれることがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にプレドネマ注腸に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、原則として、この薬を使用することはできません。

- ・有効な抗菌剤のない感染症にかかっている人
- ・全身の真菌症にかかっている人
- ・消化性潰瘍のある人
- ・精神病の人
- ・結核にかかっている人
- ・単純疱疹性角膜炎の人
- ・後囊白内障の人
- ・緑内障の人
- ・高血圧の人
- ・電解質異常のある人
- ・血栓症の人
- ・最近、内臓の手術を受けた人
- ・急性心筋梗塞を起こした人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・感染症にかかっている人
- ・糖尿病の人
- ・骨粗しょう症の人
- ・腎不全の人
- ・甲状腺機能が低下している人
- ・肝硬変の人
- ・脂肪肝の人
- ・脂肪塞栓症の人
- ・重症筋無力症の人
- ・高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は肛門から注入する注腸剤です。決して飲んだりしないでください。

●使用量および回数

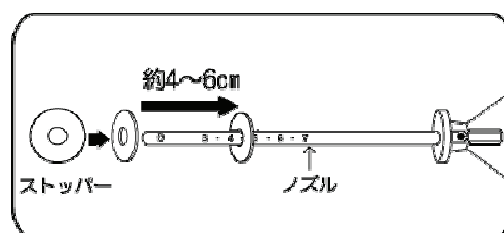
使用量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。通常、成人の使用量は1回に1本です。

●どのように使用するか？

- 室温によっては、冷たくてお腹を刺激することがあります。気温が低い季節は、アルミ袋のまま、お湯につけて体温程度に温めてください。
- 使用直前にアルミ袋から容器を取り出してください。この薬は、光に不安定なため、アルミ袋開封後は速やかに使用してください。
- ノズルが挿入しづらい場合は、潤滑剤（ワセリン、オリーブ油等または水）を塗ると滑らかに挿入できます。
- 肛門にノズルが入る長さには個人差があるので、むりに奥へ挿入すると腸を傷つけるおそれがあります。初めてご使用される場合などはストッパーを装着してご使用ください。

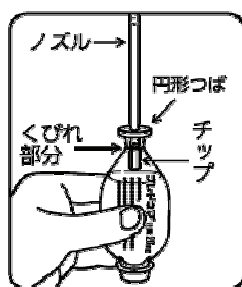
[ストッパーの使い方]

円盤状のストッパー1枚を図のようにノズルの先端から約4～6cmを目安に差し込んでください。



<プレドネマ注腸 20mg の使用方法>

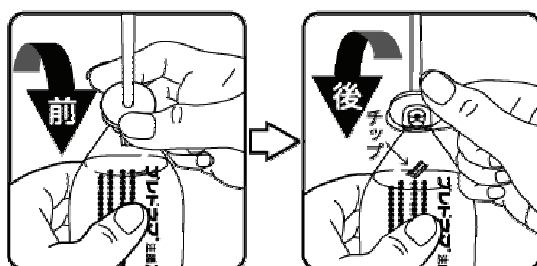
1. [開栓時の容器の持ち方]



左図のように「プレドネマ」の文字が入っている面を手前にし、ノズルを上に向け胴体部分を軽く持つようにしてください。

(注) 開栓時に容器を強く握りしめると、液が飛び出すおそれがありますので、軽く持つようにしてください。

2. [チップの切り離し方]



円形つばを持ち、「くびれ」部分を左図のように1回ゆっくり前後に折り曲げると、普通はチップが外れ、液が出るようになります。また、チップが完全に切り離されなくてもチップがずれて液が出るようになります。

(注) 左右（横）方向・斜め方向に折り曲げると液漏れを起こすことがあります。

3. 左腰を下にした状態で横になり、ノズル部分を肛門からゆっくりと慎重に挿入します。

(注) 決して無理には挿入しないでください。無理に挿入すると腸を傷つけるおそれがあります。

4. 左腰を下にした状態で液をゆっくりと押し出した後、容器を握りしめたまま、ゆっくり引き抜きます。

●使用し忘れた場合の対応

決して2回分を一度に使用しないでください。気がついたときに、1回分を使用

してください。ただし、次の使用時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分使用してください。

●多く使用した時(過量使用時)の対応

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・水痘（みずぼうそう）または麻疹（はしか）に感染すると致命的な経過をたどることがあります。感染が疑われる場合はただちに受診してください。
- ・この薬を連用した後、急に使用するのを中止すると、発熱、頭痛、食欲不振、脱力感、筋肉痛、関節痛、ショックなどがあらわれることがあります。中止する場合は徐々に減量されます。医師の指示どおりに使用してください。
- ・B型肝炎ウイルスキャリアといわれている人は、この薬の使用途中や使用終了後に継続して血液検査が行われます。発熱、倦怠感（けんたいかん）、皮膚や白目が黄色くなるなどの症状があらわれた場合には、速やかに医師に連絡してください。
- ・薬物、食物、添加物等に過敏な喘息の人は、この薬を使用している間、喘息発作が悪化することがありますので特に注意してください。
- ・この薬を長期あるいは大量に使用している間、または使用中止後6ヵ月以内は、免疫機能が低下していることがありますので、生ワクチン〔麻疹（はしか）、風疹（ふうしん）、おたふく風邪、水痘（みずぼうそう）、BCG、ポリオ（小児まひ）など〕の接種を受けないでください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
誘発感染症、感染症の増悪 ゆうはつかんせんしょう、かんせんしょうの ぞうあく	かぜのような症状、からだのだるい、発熱、 嘔吐 〔B型肝炎ウイルスの増殖による肝炎としてあ らわれる場合〕 吐き気、嘔吐、食欲不振、白目が黄色く なる、皮膚が黄色くなる
続発性副腎皮質機能不全 ぞくはつせいふくじんひしつきのうふぜん	からだのだるい、吐き気、嘔吐、力が入らな い、食欲不振、低血圧

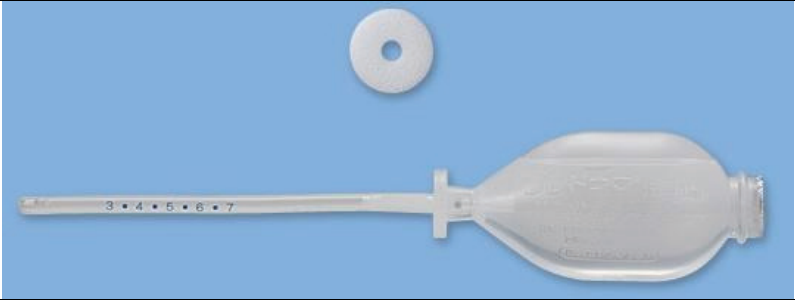
重大な副作用	主な自覚症状
糖尿病 とうりょうびょう	のどが渇く、疲れやすい、尿量が多い、体重減少
消化管潰瘍 しょうかかんかいよう	腹痛、胸やけ、吐き気、嘔吐、食欲不振
消化管穿孔 しょうかかんせんこう	吐き気、激しい腹痛、嘔吐
消化管出血 しょうかかんしゅっけつ	血が混ざった便、黒色便、吐き気、血を吐く、腹痛、嘔吐
膵炎 すいえん	胃・おなかの激しい痛み、吐き気、背中の痛み、嘔吐
精神変調 せいしんへんちょう	気分が落ち込む、夜中に目がさめる、眠りが浅い、食欲不振、情緒不安、考えがまとまらない、気分がふさぎ込む、やる気がおきない、ぼんやりする、どうしたらよいかわからない、からだがだるい、上機嫌
うつ状態 うつじょうたい	やる気がおきない、気分が落ち込む、気分がふさぎ込む、不眠
痙攣 けいれん	けいれん
骨粗鬆症 こつそしょうしょう	腰・背中の痛み、骨折しやすくなる、手足の痛み
大腿骨及び上腕骨等の骨頭無菌性壊死 だいたいこつおよびじょうわんこつなどのこつとうむきんせいえし	膝の関節の痛み、歩行障害、太もも前面の痛み、関節の痛み、歩くときや立ち上がるときの股関節の痛み
ミオパシー ミオパシー	筋肉の痛み、筋力の低下、筋肉のこわばり
緑内障 りょくないしょう	吐き気、眼の痛み、視力の低下、頭痛
後嚢白内障 こうのうはくないしょう	眼のかすみ、光がまぶしく感じる、視力の低下
中心性漿液性網脈絡膜症 ちゅうしんせいしょうえきせいもうみやくらくまくしょう	視力の低下、なんとなく見づらい
多発性後極部網膜色素上皮症 たはつせいこうきょくぶもうまくしきそじょうひしょう	視力の低下
血栓症 けっせんしょう	吐き気、血を吐く、腹がはる、嘔吐、胸の痛み、胸をしめつけられる感じ、激しい腹痛、出血、足の激しい痛み、知覚のまひ、胸を強く押さえつけた感じ
心筋梗塞 しんきんこうそく	息苦しい、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、冷や汗
脳梗塞 のうこうそく	考えがまとまらない、判断力の低下、嘔吐、片側のまひ、吐き気、しゃべりにくい、意識を失って深く眠りこむ、手足の麻痺・しびれ、

重大な副作用	主な自覚症状
	意識の低下、頭痛
動脈瘤 どうみやくりゅう	通常無症状
ショック ショック	めまい、頭痛、立ちくらみ
アナフィラキシー様症状 アナフィラキシーようしょうじょう	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、じんましん、判断力の低下、動悸、息切れ、息苦しい、からだがだるい、考えがまとまらない、ほてり、意識の低下、ふらつき
喘息発作 ぜんそくほっさ	息をするときヒューヒュー音がする、息苦しい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	かぜのような症状、からだがだるい、力が入らない、けいれん、骨折しやすくなる、関節の痛み、冷や汗、筋肉の痛み、発熱、疲れやすい、立ちくらみ、ふらつき
頭部	考えがまとまらない、ぼんやりする、意識の低下、頭痛、めまい
顔面	ほてり
眼	眼の痛み、視力の低下、眼のかすみ、光がまぶしく感じる、なんとなく見づらい、眼と口唇のまわりのはれ、白目が黄色くなる
口や喉	吐き気、血を吐く、しゃべりにくい、嘔吐、のどが渇く、しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、息をするときヒューヒュー音がする
胸部	吐き気、息苦しい、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、胸やけ、胸の痛み、胸をしめつけられる感じ、胸を強く押さえつけた感じ、動悸、息切れ
腹部	吐き気、腹痛、食欲不振、激しい腹痛、胃・おなかの激しい痛み、腹がはる
背中	腰・背中での痛み、背中での痛み
手・足	片側のまひ、手足の麻痺・しびれ、手足の痛み、膝の関節の痛み、歩行障害、太もも前面の痛み、関節の痛み、歩くときや立ち上がる時の股関節の痛み、足の激しい痛み
皮膚	じんましん、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋力の低下、筋肉のこわばり、筋肉の痛み
便	血が混ざった便、黒色便
尿	尿量が多い
その他	気分が落ち込む、気分がふさぎ込む、やる気がおきない、どうしたらよいかわからない、夜中に目がさめる、眠りが浅い、不眠、情緒不安、上機嫌、低血圧、判断力の低下、意識を失って深く眠りこむ、体重減少、知覚のまひ、出血

【この薬の形は？】

性状	無色澄明の液で、わずかに粘性がある
内容量	60mL
形状	
識別コード	KP-009

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	プレドニゾロンリン酸エステルナトリウム
添加物	カルボキシビニルポリマー、リン酸水素ナトリウム水和物、パラオキシ安息香酸エチル、パラオキシ安息香酸ブチル、エデト酸ナトリウム水和物、水酸化ナトリウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・この薬は光に不安定なため、アルミ袋を開封せずに、直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：杏林製薬株式会社 くすり情報センター

(<http://www.kyorin-pharm.co.jp/>)

電話：0120-409341

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・弊社休業日を除く）